

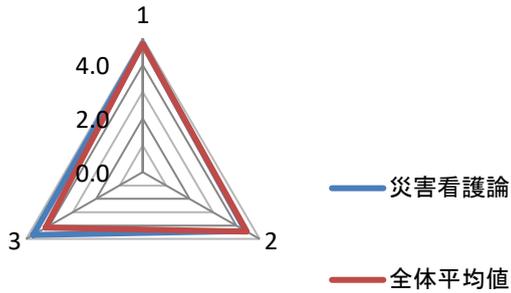
令和4年度第3学年前期「災害看護論」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
94	18	19%

実施日:最終授業日から3日間

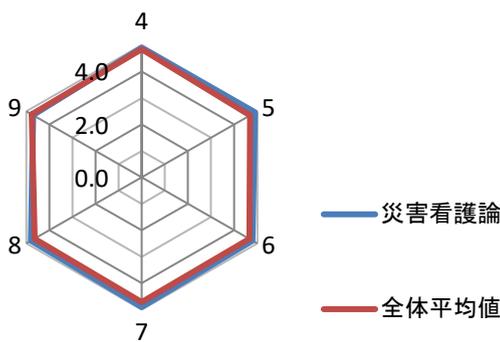
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	災害看護論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.8	4.8	4.7	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.4	4.4	3.8	4.8
3 教員に授業内容について質問した。	4.7	4.2	3.2	4.8

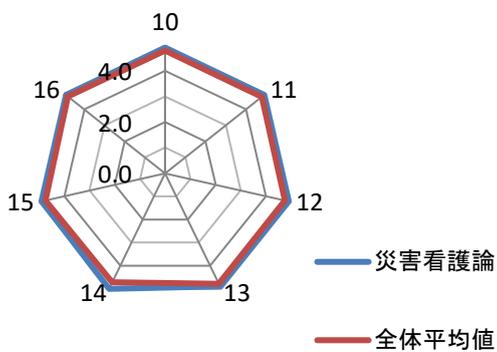
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	災害看護論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.9	4.8	4.6	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.9	4.7	4.4	5.0
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.8	4.7	4.5	4.8
7 授業内容に興味を持てた。	4.9	4.7	4.5	5.0
8 知的好奇心が刺激された。	4.8	4.6	4.4	5.0
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.7	4.8	4.5	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	災害看護論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.9	4.8	4.5	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.9	4.8	4.6	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.9	4.8	4.6	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.9	4.8	4.6	5.0
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	5.0	4.7	4.2	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.9	4.8	4.3	5.0
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.9	4.8	4.6	5.0

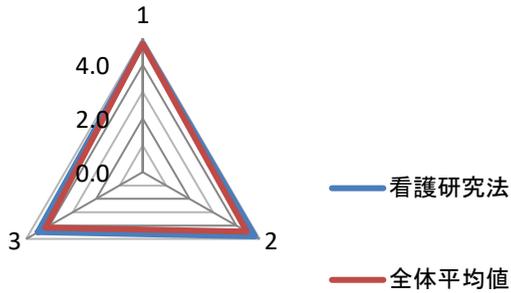
令和4年度第3学年前期「看護研究法」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
98	12	12%

実施日:最終授業日から3日間

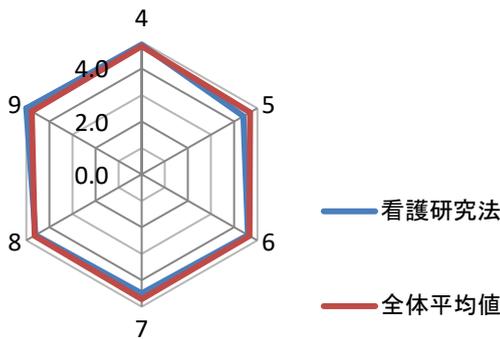
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	看護研究法	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.8	4.8	4.7	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.8	4.4	3.8	4.8
3 教員に授業内容について質問した。	4.5	4.2	3.2	4.8

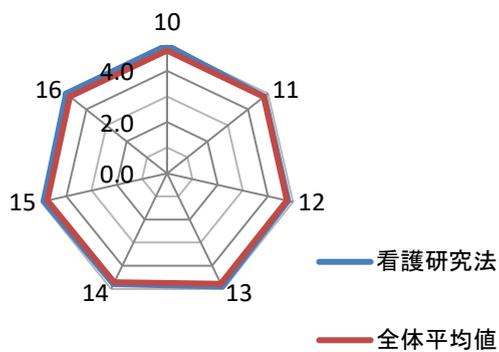
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	看護研究法	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.9	4.8	4.6	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.4	4.7	4.4	5.0
6 授業の内容はレベルが適切であった。	4.6	4.7	4.5	4.8
7 授業内容に興味を持てた。	4.5	4.7	4.5	5.0
8 知的好奇心が刺激された。	4.6	4.6	4.4	5.0
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	5.0	4.8	4.5	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	看護研究法	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	5.0	4.8	4.5	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.8	4.8	4.6	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.8	4.8	4.6	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.9	4.8	4.6	5.0
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.8	4.7	4.2	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.9	4.8	4.3	5.0
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	5.0	4.8	4.6	5.0

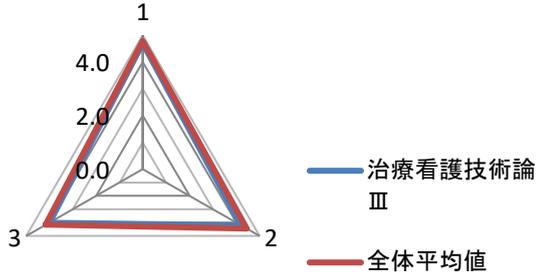
令和4年度第3学年前期「治療看護技術論Ⅲ」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
94	28	30%

実施日:最終授業日から3日間

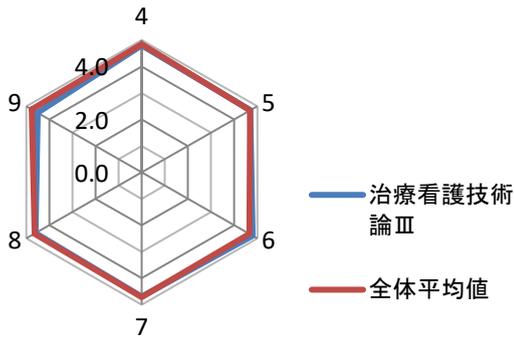
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	治療看護技術論Ⅲ	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.7	4.8	4.7	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極に行った。	4.2	4.4	3.8	4.8
3 教員に授業内容について質問した。	4.0	4.2	3.2	4.8

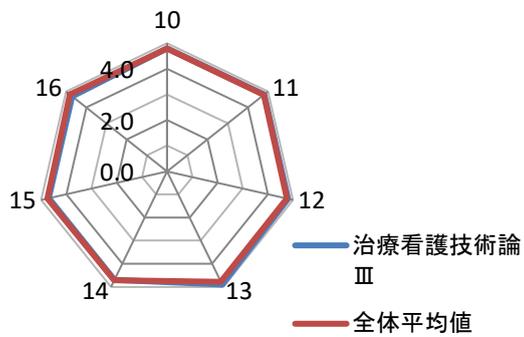
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	治療看護技術論Ⅲ	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.8	4.8	4.6	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.7	4.7	4.4	5.0
6 授業の内容はレベルが適切であった。	4.8	4.7	4.5	4.8
7 授業内容に興味を持てた。	4.7	4.7	4.5	5.0
8 知的好奇心が刺激された。	4.6	4.6	4.4	5.0
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.5	4.8	4.5	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	治療看護技術論Ⅲ	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.8	4.8	4.5	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.8	4.8	4.6	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.8	4.8	4.6	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.9	4.8	4.6	5.0
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.7	4.7	4.2	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.7	4.8	4.3	5.0
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.7	4.8	4.6	5.0

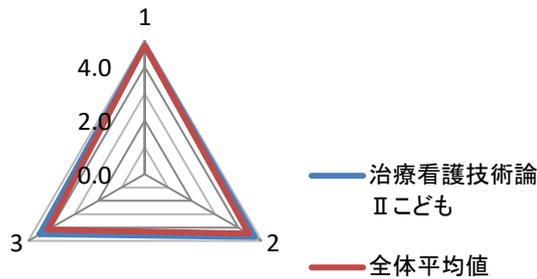
令和4年度第3学年前期「治療看護技術論Ⅱこども」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
95	12	13%

実施日:最終授業日から3日間

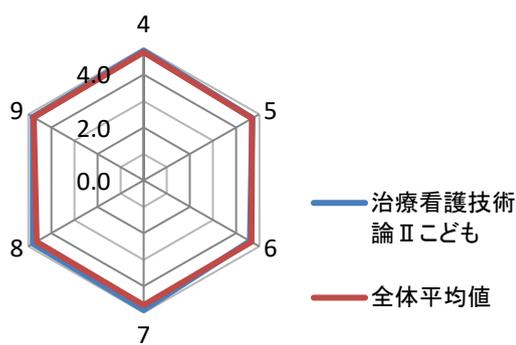
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	治療看護技術論Ⅱこども	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.8	4.8	4.7	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極に行った。	4.7	4.4	3.8	4.8
3 教員に授業内容について質問した。	4.5	4.2	3.2	4.8

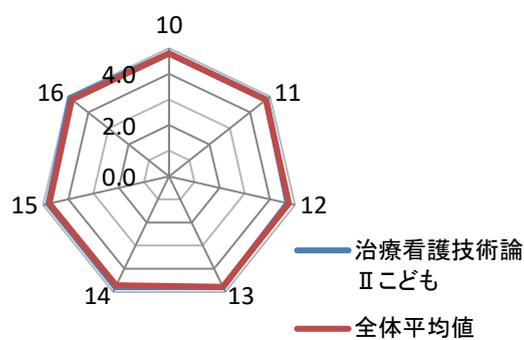
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	治療看護技術論Ⅱこども	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.9	4.8	4.6	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.7	4.7	4.4	5.0
6 授業の内容はレベルが適切であった。	4.6	4.7	4.5	4.8
7 授業内容に興味を持てた。	4.9	4.7	4.5	5.0
8 知的好奇心が刺激された。	4.8	4.6	4.4	5.0
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.8	4.8	4.5	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	治療看護技術論Ⅱこども	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.8	4.8	4.5	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.8	4.8	4.6	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.7	4.8	4.6	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.8	4.8	4.6	5.0
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.8	4.7	4.2	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.8	4.8	4.3	5.0
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.9	4.8	4.6	5.0

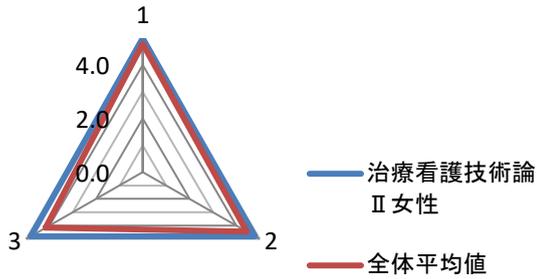
令和4年度第3学年前期「治療看護技術論Ⅱ 女性」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
95	21	22%

実施日:最終授業日から3日間

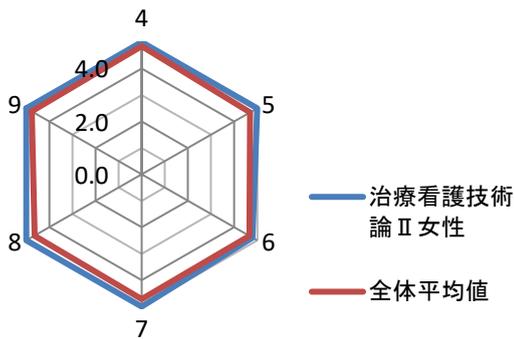
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	治療看護技術論Ⅱ 女性	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した	5.0	4.8	4.7	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.8	4.4	3.8	4.8
3 教員に授業内容について質問した。	4.8	4.2	3.2	4.8

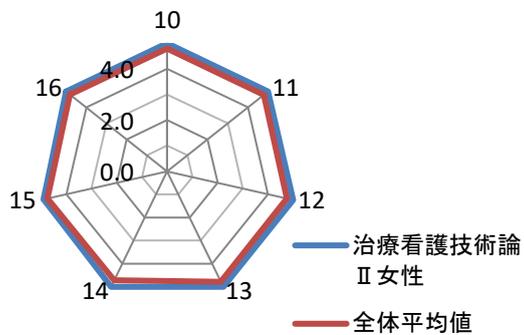
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	治療看護技術論Ⅱ 女性	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	5.0	4.8	4.6	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	5.0	4.7	4.4	5.0
6 授業の内容はレベルが適切であった。	4.8	4.7	4.5	4.8
7 授業内容に興味を持てた。	5.0	4.7	4.5	5.0
8 知的好奇心が刺激された。	5.0	4.6	4.4	5.0
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	5.0	4.8	4.5	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	治療看護技術論Ⅱ 女性	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	5.0	4.8	4.5	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	5.0	4.8	4.6	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	5.0	4.8	4.6	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	5.0	4.8	4.6	5.0
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	5.0	4.7	4.2	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.9	4.8	4.3	5.0
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	5.0	4.8	4.6	5.0

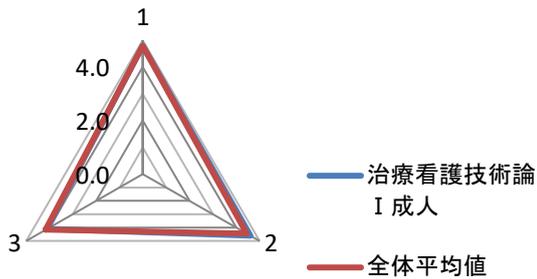
令和4年度第3学年前期「治療看護技術論 I 成人」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
94	34	36%

実施日:最終授業日から3日間

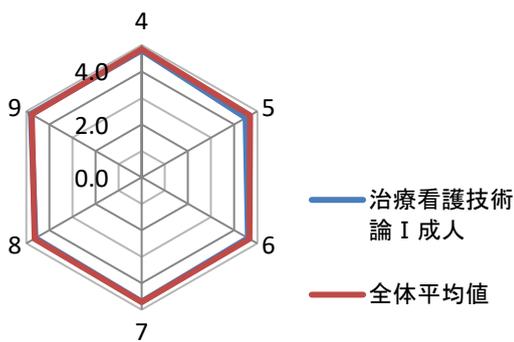
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	治療看護技術論 I 成人	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した	4.8	4.8	4.7	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極に行った。	4.6	4.4	3.8	4.8
3 教員に授業内容について質問した。	4.1	4.2	3.2	4.8

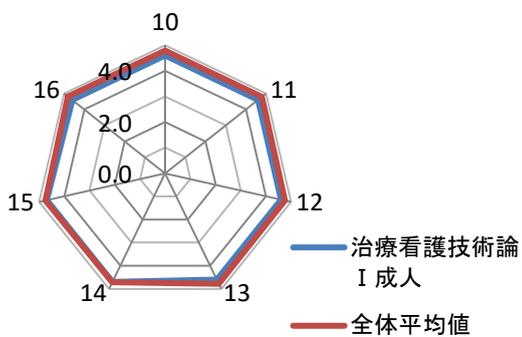
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	治療看護技術論 I 成人	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.8	4.8	4.6	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.5	4.7	4.4	5.0
6 授業の内容はレベルが適切であった。	4.6	4.7	4.5	4.8
7 授業内容に興味を持てた。	4.7	4.7	4.5	5.0
8 知的好奇心が刺激された。	4.6	4.6	4.4	5.0
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.8	4.8	4.5	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	治療看護技術論 I 成人	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.6	4.8	4.5	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.6	4.8	4.6	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.6	4.8	4.6	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.6	4.8	4.6	5.0
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.7	4.7	4.2	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.7	4.8	4.3	5.0
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.6	4.8	4.6	5.0

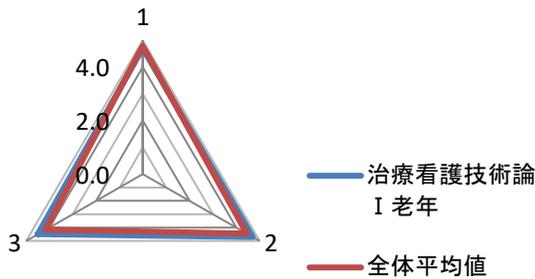
令和4年度第3学年前期「治療看護技術論 I 老年」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
94	26	28%

実施日:最終授業日から3日間

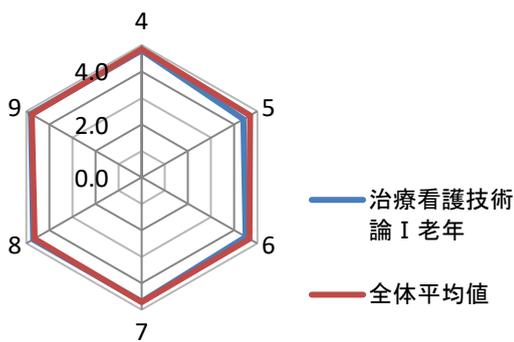
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	治療看護技術論 I 老年	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.7	4.8	4.7	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極に行った。	4.7	4.4	3.8	4.8
3 教員に授業内容について質問した。	4.5	4.2	3.2	4.8

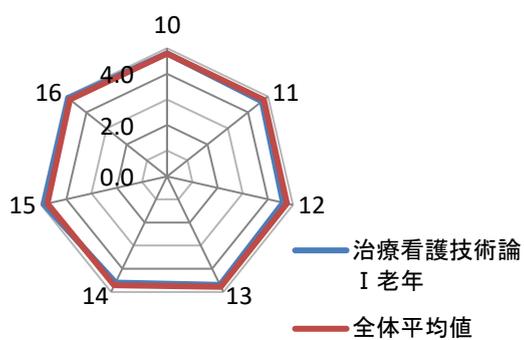
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	治療看護技術論 I 老年	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.8	4.8	4.6	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.4	4.7	4.4	5.0
6 授業の内容はレベルが適切であった。	4.5	4.7	4.5	4.8
7 授業内容に興味を持てた。	4.7	4.7	4.5	5.0
8 知的好奇心が刺激された。	4.7	4.6	4.4	5.0
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.8	4.8	4.5	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	治療看護技術論 I 老年	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.8	4.8	4.5	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.7	4.8	4.6	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.6	4.8	4.6	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.7	4.8	4.6	5.0
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.6	4.7	4.2	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.9	4.8	4.3	5.0
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.9	4.8	4.6	5.0

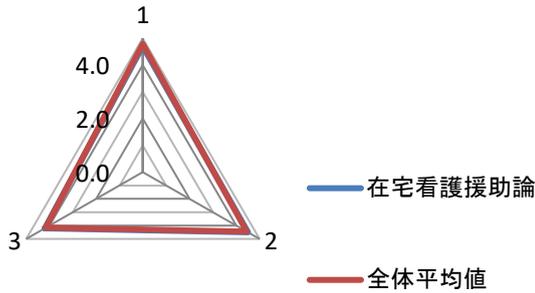
令和4年度第3学年前期「在宅看護援助論」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
94	23	24%

実施日:最終授業日から3日間

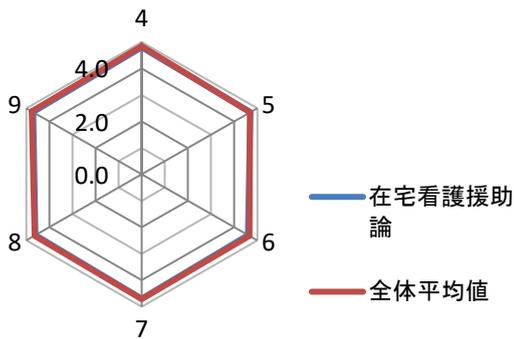
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	在宅看護援助論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.7	4.8	4.7	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極に行った。	4.5	4.4	3.8	4.8
3 教員に授業内容について質問した。	4.2	4.2	3.2	4.8

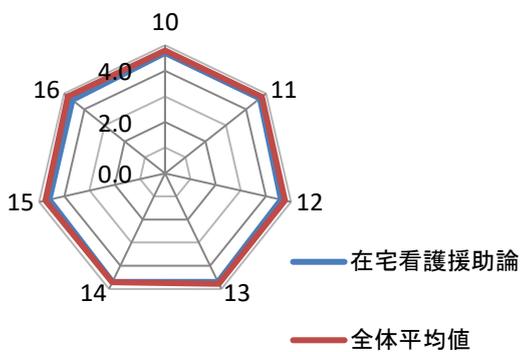
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	在宅看護援助論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.8	4.8	4.6	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.7	4.7	4.4	5.0
6 授業の内容はレベルが適切であった。	4.6	4.7	4.5	4.8
7 授業内容に興味を持てた。	4.7	4.7	4.5	5.0
8 知的好奇心が刺激された。	4.6	4.6	4.4	5.0
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.7	4.8	4.5	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	在宅看護援助論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.7	4.8	4.5	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.7	4.8	4.6	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.6	4.8	4.6	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.7	4.8	4.6	5.0
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.7	4.7	4.2	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.6	4.8	4.3	5.0
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.6	4.8	4.6	5.0

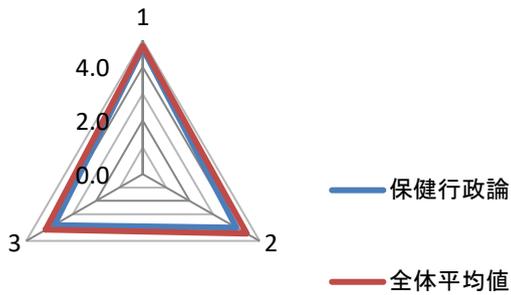
令和4年度第3学年前期「保健行政論」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
20	6	30%

実施日:最終授業日から3日間

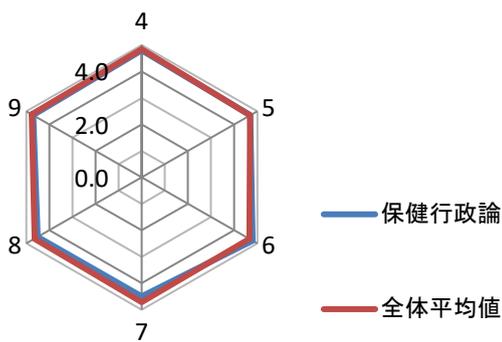
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	保健行政論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した	4.7	4.8	4.7	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.0	4.4	3.8	4.8
3 教員に授業内容について質問した。	3.8	4.2	3.2	4.8

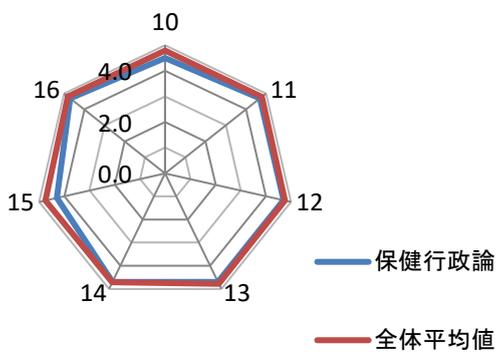
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	保健行政論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.8	4.8	4.6	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.7	4.7	4.4	5.0
6 授業の内容はレベルが適切であった。	4.8	4.7	4.5	4.8
7 授業内容に興味を持てた。	4.5	4.7	4.5	5.0
8 知的好奇心が刺激された。	4.5	4.6	4.4	5.0
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.7	4.8	4.5	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	保健行政論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.5	4.8	4.5	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.7	4.8	4.6	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.7	4.8	4.6	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.7	4.8	4.6	5.0
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.7	4.7	4.2	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.3	4.8	4.3	5.0
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.7	4.8	4.6	5.0

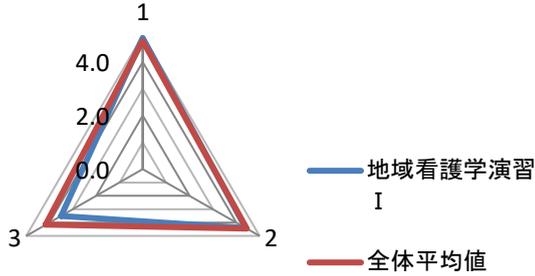
令和4年度第3学年前期「地域看護学演習 I」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
20	8	40%

実施日:最終授業日から3日間

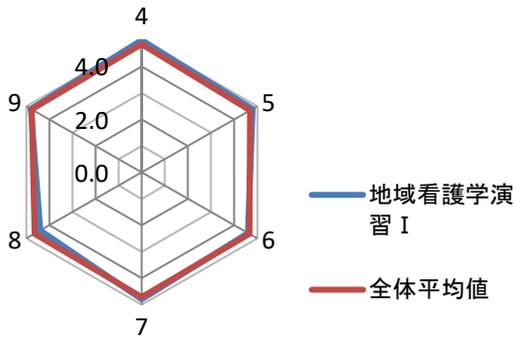
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	地域看護学演習 I	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した	4.9	4.8	4.7	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.4	4.4	3.8	4.8
3 教員に授業内容について質問した。	3.5	4.2	3.2	4.8

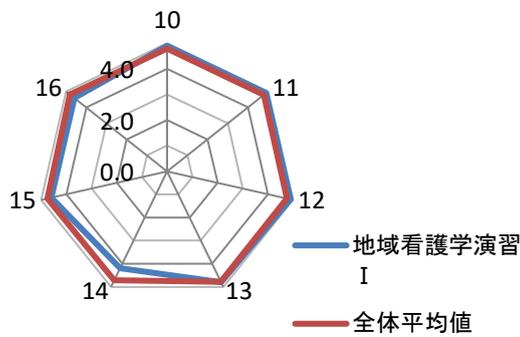
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	地域看護学演習 I	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	5.0	4.8	4.6	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.8	4.7	4.4	5.0
6 授業の内容はレベルが適切であった。	4.6	4.7	4.5	4.8
7 授業内容に興味を持てた。	4.8	4.7	4.5	5.0
8 知的好奇心が刺激された。	4.4	4.6	4.4	5.0
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.8	4.8	4.5	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	地域看護学演習 I	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.9	4.8	4.5	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.9	4.8	4.6	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.9	4.8	4.6	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.8	4.8	4.6	5.0
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.2	4.7	4.2	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.6	4.8	4.3	5.0
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.6	4.8	4.6	5.0

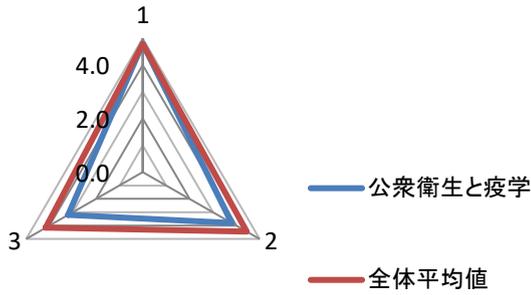
令和4年度第3学年前期「公衆衛生と疫学」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
94	13	14%

実施日:最終授業日から3日間

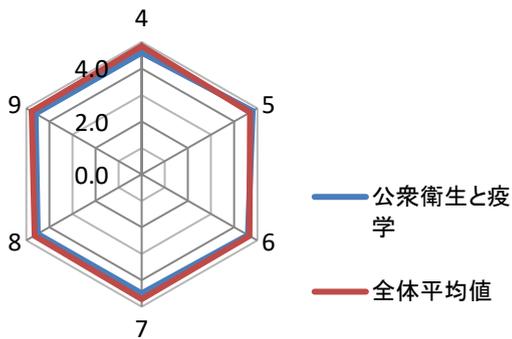
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	公衆衛生と疫学	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.8	4.8	4.7	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極に行った。	3.8	4.4	3.8	4.8
3 教員に授業内容について質問した。	3.2	4.2	3.2	4.8

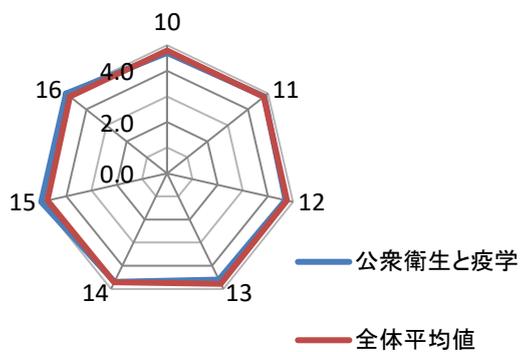
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	公衆衛生と疫学	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.6	4.8	4.6	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.8	4.7	4.4	5.0
6 授業の内容はレベルが適切であった。	4.6	4.7	4.5	4.8
7 授業内容に興味を持てた。	4.5	4.7	4.5	5.0
8 知的好奇心が刺激された。	4.5	4.6	4.4	5.0
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.6	4.8	4.5	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

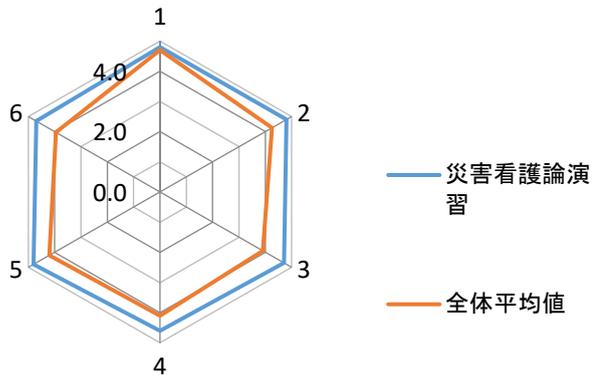
	公衆衛生と疫学	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.7	4.8	4.5	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.8	4.8	4.6	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.7	4.8	4.6	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.6	4.8	4.6	5.0
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.7	4.7	4.2	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	5.0	4.8	4.3	5.0
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	5.0	4.8	4.6	5.0

令和4年度 第3学年 後期「災害看護論演習」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
94	9	10%

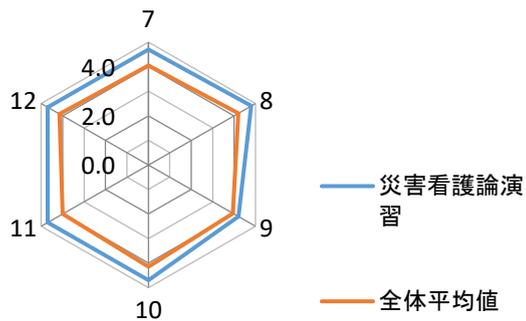
問1. 授業内容



問1. 授業内容

	災害看護論演習	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って授業が進められた。	4.8	4.7	4.6	4.8
2 授業内容は理解できるものであった。	4.8	4.3	3.7	4.8
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	4.7	3.9	3.1	4.7
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	4.6	4.1	3.6	4.6
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	4.8	4.2	3.6	4.8
6 授業内容は満足のできるものであった。	4.7	4.0	3.2	4.7

問2. 授業方法



問2. 授業方法

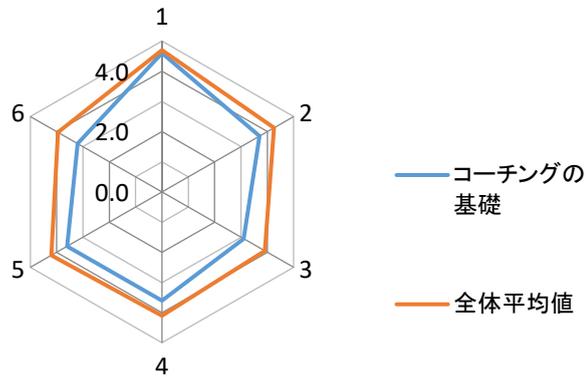
	災害看護論演習	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
7 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.7	4.1	3.4	4.7
8 専門的な知識や技術の取得のために教員から十分な支援があった。	4.8	4.2	3.6	4.8
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	4.2	4.0	3.7	4.2
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	4.7	4.2	3.6	4.7
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	4.7	4.0	3.3	4.7
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.7	4.2	3.6	4.7

令和4年度 第3学年 通年「コーチングの基礎」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
94	14	15%

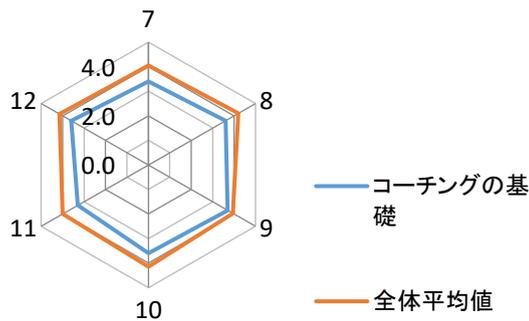
問1. 授業内容



問1. 授業内容

	コーチングの基礎	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って授業が進められた。	4.6	4.7	4.6	4.8
2 授業内容は理解できるものであった。	3.7	4.3	3.7	4.8
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	3.1	3.9	3.1	4.7
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	3.6	4.1	3.6	4.6
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	3.6	4.2	3.6	4.8
6 授業内容は満足のできるものであった。	3.2	4.0	3.2	4.7

問2. 授業方法



問2. 授業方法

	コーチングの基礎	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
7 教員の話す速度や声量は適切であった。	3.4	4.1	3.4	4.7
8 専門的な知識や技術の取得のために教員から十分な支援があった。	3.6	4.2	3.6	4.8
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	3.7	4.0	3.7	4.2
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	3.6	4.2	3.6	4.7
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	3.3	4.0	3.3	4.7
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	3.6	4.2	3.6	4.7

令和4年度第3学年後期「看護展開実習 I A(成人)」授業評価結果 ※通常実習

履修者数	回答者数	回答率
91	32	35%

I. 実習内容

	そう思う	だいたいそう思う	どちらともいえない	あまり思わない	まったく思わない	看護展開実習 I A	平均
1 自主性をもって実習することができる実習であった。	26	5	1	0	0	4.8	4.8
2 実習の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	27	5	0	0	0	4.8	4.7
3 実習内容は満足のできるものであった。	22	7	1	2	0	4.5	4.6

II. 実習方法

	そう思う	だいたいそう思う	どちらともいえない	あまり思わない	まったく思わない	看護展開実習 I A	平均
4 実習要項に沿って実習が進められた。	25	7	0	0	0	4.8	4.8
5 実習オリエンテーションは学習を進める上で助けになった。	26	5	0	1	0	4.8	4.7
6 専門的な知識や技術の取得のために教員から十分な支援があった。	23	5	3	1	0	4.6	4.4
7 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	24	3	4	1	0	4.6	4.4
8 教員からの助言や指導は学習を進める上で役立った。	22	5	3	2	0	4.5	4.4
9 教員と実習施設の連携が図られていた。	20	5	3	4	0	4.3	4.3

III. 実習施設

	そう思う	だいたいそう思う	どちらともいえない	あまり思わない	まったく思わない	看護展開実習 I A	平均
10 実習施設の指導者から適切な指導・援助を受けることができた。	26	4	2	0	0	4.8	4.8
11 実習施設は学習目標や方法を理解していた。	26	5	1	0	0	4.8	4.7
12 実習施設は学生の安全に配慮していた。	28	3	1	0	0	4.8	4.8
13 実習施設は学習目標を達成するために十分な設備が整えられていた。	28	3	0	1	0	4.8	4.8

令和4年度第3学年後期「看護展開実習 I B(成人)」授業評価結果 ※通常実習

履修者数	回答者数	回答率
90	30	33%

I. 実習内容

	そう思う	だいたいそう思う	どちらともいえない	あまり思わない	まったく思わない	看護展開実習 I B	平均
1 自主性をもって実習することができる実習であった。	24	4	0	2	0	4.7	4.8
2 実習の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	22	5	2	0	1	4.6	4.7
3 実習内容は満足のできるものであった。	22	3	4	1	0	4.5	4.6

II. 実習方法

	そう思う	だいたいそう思う	どちらともいえない	あまり思わない	まったく思わない	看護展開実習 I B	平均
4 実習要項に沿って実習が進められた。	21	6	2	1	0	4.6	4.8
5 実習オリエンテーションは学習を進める上で助けになった。	21	6	0	3	0	4.5	4.7
6 専門的な知識や技術の取得のために教員から十分な支援があった。	16	7	3	2	2	4.1	4.4
7 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	16	5	4	1	4	3.9	4.4
8 教員からの助言や指導は学習を進める上で役立った。	17	4	4	1	4	4.0	4.4
9 教員と実習施設の連携が図られていた。	20	1	4	3	2	4.1	4.3

III. 実習施設

	そう思う	だいたいそう思う	どちらともいえない	あまり思わない	まったく思わない	看護展開実習 I B	平均
10 実習施設の指導者から適切な指導・援助を受けることができた。	24	4	1	1	0	4.7	4.8
11 実習施設は学習目標や方法を理解していた。	24	3	1	2	0	4.6	4.7
12 実習施設は学生の安全に配慮していた。	26	3	0	1	0	4.8	4.8
13 実習施設は学習目標を達成するために十分な設備が整えられていた。	25	3	2	0	0	4.8	4.8

令和4年度第3学年後期「看護展開実習Ⅱ(老年)」授業評価結果 ※完全代替実習

履修者数	回答者数	回答率
90	21	23%

I. 実習内容

	そう思う	だいたいそう思う	どちらともいえない	あまり思わない	まったく思わない	看護展開実習Ⅱ	平均
1 自主性をもって実習することができる実習であった。	15	3	2	1	0	4.5	4.8
2 実習の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	14	4	3	0	0	4.5	4.7
3 実習内容は満足のできるものであった。	11	6	2	2	0	4.2	4.6

II. 実習方法

	そう思う	だいたいそう思う	どちらともいえない	あまり思わない	まったく思わない	看護展開実習Ⅱ	平均
4 実習要項に沿って実習が進められた。	16	2	3	0	0	4.6	4.8
5 実習オリエンテーションは学習を進める上で助けになった。	16	1	3	1	0	4.5	4.8
6 専門的な知識や技術の取得のために教員から十分な支援があった。	16	1	2	2	0	4.5	4.7
7 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	18	1	1	1	0	4.7	4.8
8 教員からの助言や指導は学習を進める上で役立った。	18	1	1	1	0	4.7	4.8
9 教員と実習施設の連携が図られていた。(学外実習施設の指導者がいた場合のみお答え下さい)	14	1	6	0	0	4.4	4.6

III. 実習施設(学外実習施設の指導者がいた場合のみお答え下さい)

	そう思う	だいたいそう思う	どちらともいえない	あまり思わない	まったく思わない	看護展開実習Ⅱ	平均
10 実習施設の指導者から適切な指導・援助を受けることができた。	12	1	7	0	1	4.1	4.7
11 実習施設は学習目標や方法を理解していた。	13	1	6	0	1	4.2	4.7
12 実習施設は学生の安全に配慮していた。	12	2	6	0	1	4.1	4.6
13 実習施設は学習目標を達成するために十分な設備が整えられていた。	11	3	6	0	1	4.1	4.7

IV. 学内シミュレーションについて(該当する場合のみお答え下さい)

	そう思う	だいたいそう思う	どちらともいえない	あまり思わない	まったく思わない	看護展開実習Ⅱ	平均
14 教員は「学内シミュレーション」の円滑な進行に配慮していた	17	0	4	0	0	4.6	4.6

V. オンライン(zoomなど)の活用について(該当する場合のみお答え下さい)

	そう思う	だいたいそう思う	どちらともいえない	あまり思わない	まったく思わない	看護展開実習Ⅱ	平均
15 教員は「オンライン(Zoomなど)」の円滑な進行に配慮していた	17	1	1	0	0	4.8	4.8
16 実習指導者からの「オンライン(Zoomなど)」による指導は学習を進めるうえで役	15	1	3	0	0	4.6	4.7

令和4年度第3学年後期「看護展開実習Ⅲ(こども)」授業評価結果 ※一部代替実習

履修者数	回答者数	回答率
95	29	31%

I. 実習内容

	そう思う	だいたいそう思う	どちらともいえない	あまり思わない	まったく思わない	看護展開実習Ⅲ	平均
1 自主性をもって実習することができる実習であった。	23	5	1	0	0	4.8	4.8
2 実習の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	22	6	1	0	0	4.7	4.7
3 実習内容は満足のできるものであった。	20	6	2	1	0	4.6	4.6

II. 実習方法

	そう思う	だいたいそう思う	どちらともいえない	あまり思わない	まったく思わない	看護展開実習Ⅲ	平均
4 実習要項に沿って実習が進められた。	23	4	2	0	0	4.7	4.8
5 実習オリエンテーションは学習を進める上で助けになった。	24	3	2	0	0	4.8	4.8
6 専門的な知識や技術の取得のために教員から十分な支援があった。	21	7	1	0	0	4.7	4.7
7 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	25	3	1	0	0	4.8	4.8
8 教員からの助言や指導は学習を進める上で役立った。	24	4	1	0	0	4.8	4.8
9 教員と実習施設の連携が図られていた。	24	3	2	0	0	4.8	4.6

III. 実習施設

	そう思う	だいたいそう思う	どちらともいえない	あまり思わない	まったく思わない	看護展開実習Ⅲ	平均
10 実習施設の指導者から適切な指導・援助を受けることができた。	26	2	1	0	0	4.9	4.7
11 実習施設は学習目標や方法を理解していた。	25	3	1	0	0	4.8	4.7
12 実習施設は学生の安全に配慮していた。	25	3	1	0	0	4.8	4.6
13 実習施設は学習目標を達成するために十分な設備が整えられていた。	25	3	1	0	0	4.8	4.7

IV. 学内シミュレーションについて(該当する場合のみお答え下さい)

	そう思う	だいたいそう思う	どちらともいえない	あまり思わない	まったく思わない	看護展開実習Ⅲ	平均
14 教員は「学内シミュレーション」の円滑な進行に配慮していた	22	6	1	0	0	4.7	4.6

V. オンライン(zoomなど)の活用について(該当する場合のみお答え下さい)

	そう思う	だいたいそう思う	どちらともいえない	あまり思わない	まったく思わない	看護展開実習Ⅲ	平均
15 教員は「オンライン(zoomなど)」の円滑な進行に配慮していた	10	1	1	0	0	4.8	4.8
16 実習指導者からの「オンライン(zoomなど)」による指導は学習を進めるうえで役	9	2	1	0	0	4.7	4.7

令和4年度第3学年後期「看護展開実習Ⅳ(母性)」授業評価結果 ※一部代替実習

履修者数	回答者数	回答率
95	36	38%

I. 実習内容

	そう思う	だいたいそう思う	どちらともいえない	あまり思わない	まったく思わない	看護展開実習Ⅳ	平均
1 自主性をもって実習することができる実習であった。	33	3	0	0	0	4.9	4.8
2 実習の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	31	4	1	0	0	4.8	4.7
3 実習内容は満足のできるものであった。	30	6	0	0	0	4.8	4.6

II. 実習方法

	そう思う	だいたいそう思う	どちらともいえない	あまり思わない	まったく思わない	看護展開実習Ⅳ	平均
4 実習要項に沿って実習が進められた。	33	2	1	0	0	4.9	4.8
5 実習オリエンテーションは学習を進める上で助けになった。	32	4	0	0	0	4.9	4.8
6 専門的な知識や技術の取得のために教員から十分な支援があった。	35	1	0	0	0	5.0	4.7
7 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	35	1	0	0	0	5.0	4.8
8 教員からの助言や指導は学習を進める上で役立った。	35	1	0	0	0	5.0	4.8
9 教員と実習施設の連携が図られていた。	30	5	1	0	0	4.8	4.6

III. 実習施設

	そう思う	だいたいそう思う	どちらともいえない	あまり思わない	まったく思わない	看護展開実習Ⅳ	平均
10 実習施設の指導者から適切な指導・援助を受けることができた。	31	4	1	0	0	4.8	4.7
11 実習施設は学習目標や方法を理解していた。	30	3	3	0	0	4.8	4.7
12 実習施設は学生の安全に配慮していた。	29	7	0	0	0	4.8	4.6
13 実習施設は学習目標を達成するために十分な設備が整えられていた。	32	3	1	0	0	4.9	4.7

IV. 学内シミュレーションについて(該当する場合のみお答え下さい)

	そう思う	だいたいそう思う	どちらともいえない	あまり思わない	まったく思わない	看護展開実習Ⅳ	平均
14 教員は「学内シミュレーション」の円滑な進行に配慮していた	27	5	4	0	0	4.6	4.6

V. オンライン(zoomなど)の活用について(該当する場合のみお答え下さい)

	そう思う	だいたいそう思う	どちらともいえない	あまり思わない	まったく思わない	看護展開実習Ⅳ	平均
15 教員は「オンライン(zoomなど)」の円滑な進行に配慮していた	29	4	0	0	0	4.9	4.8
16 実習指導者からの「オンライン(zoomなど)」による指導は学習を進めるうえで役	28	5	0	0	0	4.8	4.7

令和4年度第3学年後期「看護展開実習Ⅴ(精神)」授業評価結果 ※一部代替実習

履修者数	回答者数	回答率
94	30	32%

I. 実習内容

	そう思う	だいたいそう思う	どちらともいえない	あまり思わない	まったく思わない	看護展開実習Ⅴ	平均
1 自主性をもって実習することができる実習であった。	28	1	1	0	0	4.9	4.8
2 実習の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	24	3	3	0	0	4.7	4.7
3 実習内容は満足のできるものであった。	24	4	2	0	0	4.7	4.6

II. 実習方法

	そう思う	だいたいそう思う	どちらともいえない	あまり思わない	まったく思わない	看護展開実習Ⅴ	平均
4 実習要項に沿って実習が進められた。	26	1	3	0	0	4.8	4.8
5 実習オリエンテーションは学習を進める上で助けになった。	27	2	1	0	0	4.9	4.8
6 専門的な知識や技術の取得のために教員から十分な支援があった。	22	6	2	0	0	4.7	4.7
7 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	25	4	1	0	0	4.8	4.8
8 教員からの助言や指導は学習を進める上で役立った。	24	5	1	0	0	4.8	4.8
9 教員と実習施設の連携が図られていた。	19	7	4	0	0	4.5	4.6

III. 実習施設

	そう思う	だいたいそう思う	どちらともいえない	あまり思わない	まったく思わない	看護展開実習Ⅴ	平均
10 実習施設の指導者から適切な指導・援助を受けることができた。	26	4	0	0	0	4.9	4.7
11 実習施設は学習目標や方法を理解していた。	23	7	0	0	0	4.8	4.7
12 実習施設は学生の安全に配慮していた。	26	3	0	1	0	4.8	4.6
13 実習施設は学習目標を達成するために十分な設備が整えられていた。	24	6	0	0	0	4.8	4.7

IV. 学内シミュレーションについて(該当する場合のみお答え下さい)

	そう思う	だいたいそう思う	どちらともいえない	あまり思わない	まったく思わない	看護展開実習Ⅴ	平均
14 教員は「学内シミュレーション」の円滑な進行に配慮していた	19	5	6	0	0	4.4	4.6

V. オンライン(zoomなど)の活用について(該当する場合のみお答え下さい)

	そう思う	だいたいそう思う	どちらともいえない	あまり思わない	まったく思わない	看護展開実習Ⅴ	平均
15 教員は「オンライン(Zoomなど)」の円滑な進行に配慮していた	7	3	0	0	0	4.7	4.8
16 実習指導者からの「オンライン(Zoomなど)」による指導は学習を進めるうえで役	7	3	0	0	0	4.7	4.7

令和4年度第3学年後期「看護展開実習Ⅵ(在宅)」授業評価結果 ※通常実習

履修者数	回答者数	回答率
94	26	28%

I. 実習内容

	そう思う	だいたいそう思う	どちらともいえない	あまり思わない	まったく思わない	看護展開実習Ⅵ	平均
1 自主性をもって実習することができる実習であった。	22	4	0	0	0	4.8	4.8
2 実習の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	22	4	0	0	0	4.8	4.7
3 実習内容は満足のできるものであった。	22	3	1	0	0	4.8	4.6

II. 実習方法

	そう思う	だいたいそう思う	どちらともいえない	あまり思わない	まったく思わない	看護展開実習Ⅵ	平均
4 実習要項に沿って実習が進められた。	23	3	0	0	0	4.9	4.8
5 実習オリエンテーションは学習を進める上で助けになった。	23	1	2	0	0	4.8	4.7
6 専門的な知識や技術の取得のために教員から十分な支援があった。	18	3	5	0	0	4.5	4.4
7 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	20	4	2	0	0	4.7	4.4
8 教員からの助言や指導は学習を進める上で役立った。	22	3	1	0	0	4.8	4.4
9 教員と実習施設の連携が図られていた。	19	4	1	2	0	4.5	4.3

III. 実習施設

	そう思う	だいたいそう思う	どちらともいえない	あまり思わない	まったく思わない	看護展開実習Ⅵ	平均
10 実習施設の指導者から適切な指導・援助を受けることができた。	23	2	1	0	0	4.8	4.8
11 実習施設は学習目標や方法を理解していた。	23	2	0	1	0	4.8	4.7
12 実習施設は学生の安全に配慮していた。	24	1	0	1	0	4.8	4.8
13 実習施設は学習目標を達成するために十分な設備が整えられていた。	23	2	0	1	0	4.8	4.8